

第5期福生市地域福祉計画進捗状況について	市の回答	回答課
実績評価に「E」を加えた事は良かったと思いますが、福祉計画の「E」とバリアフリー計画の「E」評価の意味合いに少し違いがあるので、統一した方が良いでしょうと思います。	「第3期福生市バリアフリー推進計画進捗状況について」にて回答	-
基本目標1 地域活動を支える担い手づくり (1) 地域に目を向け参加・参画する人の増加について、次の施策・事業の実績は、参加目標に対する成果Aという理解でよろしいか。		
・市民の主体的福祉活動への支援	市は、市民が主体的に福祉活動へ参加できるように支援することを目標としており、社会福祉協議会に財政的支援として補助金を交付しています。この事業は社会福祉協議会の独自事業で市民がボランティアや市民活動に参加するきっかけづくりや地域課題を考えてもらう機会として実施しています。	介護福祉課
・ボランティア活動への支援	市は、市民が主体的に福祉活動へ参加できるように支援することを目標としており、社会福祉協議会に財政的支援として補助金を交付しています。この事業は社会福祉協議会の独自事業で市民がボランティアや市民活動に参加するきっかけづくりや地域課題を考えてもらう機会として実施しています。	介護福祉課
	令和2年度の計画内容は「市民活動に関する情報提供や講座等を実施します。」としております。ホームページや情報誌での情報発信をはじめ、コロナ禍であってもオンラインで講座を開催したり、イベントが開催できなくても、ポスター展示で各団体の活動紹介を行ったり、可能な限り工夫をして事業に取り組み、市民に参加していただき、その上で評価を行いました。	協働推進課
・地域リーダーの育成と市民参加の促進	福祉関連講座1コースの実施を計画していたことに対して、2コース5回を実施したため、成果Aといたしました。	公民館
・シルバーボランティア活動の促進	その通りです。介護サポーターの募集は通年で行っており、8名から新規登録の申請がありました。	介護福祉課
ボランティア活動への支援について、市民活動講座を14回開催は、コロナ禍を念頭に入れた単年目標値（縮小実施）なのか、リモート等で工夫して、既存目標を達成したものなのか。	この事業は社会福祉協議会の独自事業で計画や実施も社会福祉協議会で行っております。予定していた事業で中止したものもあります。	介護福祉課
基本目標1 地域活動を支える担い手づくり (2) NPO・ボランティア活動等の支援、「5 障害者団体活動への支援」の達成率について、コロナ禍により活動の多くが未実施とあり、それでもAという評価なのは、補助金交付や庁用バス提供への実績評価という理解でよろしいか。 地域福祉の推進に寄与という切り口で矛盾はないか。	コロナ禍で多くの活動が自粛されましたが、年度当初には活動の実施を前提として庁用バスの調整、補助金の交付など、各団体の支援を行いましたのでA評価といたしました。	障害福祉課
コロナ禍でのこの実施率は素晴らしいですね。	-	-
10ページ「安全安心な地域づくりの推進 No. 5 緊急通報システムの充実」のところで引き続き他の手法で対応をお願いいたします。	引き続き周知に努めるとともに、対象となるような方がいたときはサービスにつながるよう支援を行って参ります。	障害福祉課
	既存の通報ボタンを押すと消防署に直接連絡されるシステムと令和2年度から通報ボタンを押すと民間の警備会社のスタッフが派遣されるシステムの2種類で実施しております。	介護福祉課

第5期福生市地域福祉計画進捗状況について	市の回答	回答課
<p>A評価が高い率で推移しており好ましいです。 E評価が増えてきていることも理解できます。しっかり対策を実施すれば実施可能な事業もあると思います。</p>	<p>御意見ありがとうございます。 社会情勢を見極めながら、事業を実施する際には、引き続き感染対策の徹底に努めます。</p>	<p>社会福祉課</p>
<p>説明を聞き理解するのと自分で文章を読み解く難しさがあつた様に思える。これもコロナ問題で仕方がない部分もあるが、行政のあらゆる事でコロナを理由に会議や行事を中止する事は逃げて（問題）いる部分がある様に思える。対策も考えない方針では問題がある様に思える。</p>	<p>御意見ありがとうございます。 福生市においては福生市新型コロナウイルス等対策本部会議において決定した新型コロナウイルスによる感染症に対する対策方針等に基づき事業の実施の可否を決定しております。社会情勢を見極めながら、事業の実施方法の検討や、できる限りの事業の実施、また、事業を実施する際には、より一層感染対策の徹底に努めます。 介護福祉課では、新型コロナウイルスの関連事業として、令和2年度は高齢者カタログギフト事業と介護事業所の職員に対するPCR検査費の補助などの事業を実施しておりますが、急遽の実施のため、地域福祉計画には目標として記載しておりませんので、実績等が資料に記載はされません。また、令和3年度は新たにコロナワクチン予約支援窓口なども実施しております。 健康課では、市内感染者の拡大防止に努めるとともに、感染症流行下においても行政サービスの著しい低下を招かないよう、必要な対策をし、健康づくり啓発や熱中症予防リーフレットを作成、配布したり、高齢者インフルエンザ予防接種事業において、接種費用を全額公費負担する等事業を実施しました。</p>	<p>福祉保健部</p>
<p>第5期の進捗状況について、特にコロナ禍の影響が大きく、実施不可の項目があつた事を理解いたしました。しかし、コロナ禍対応というか、大きな意味で、感染症（新たな疾病を含む）や災害（大雨）対応という面では、今後とも名や形を変えて、様々な計画に影響を与えると想定（想定外にしない）した方が良いと思います。できなかった分野については、今後、従来の対応に加え、講習系ではビデオでも可能な対応、会議系ではズーム等のネット会議でも可能な対応、住民に対しての啓発活動では、多種の広報媒体でも可能な対応など、社会の変化に対応できる様、少しずつ検討していく必要があると思います。特に、大きく前進した「適切な支援につながる体制づくり」についてですが、確かオレンジカフェで担当の方とお会いしたと思います。コロナ禍での生活困窮やフレイル対応など市民への影響は、これから本格化すると推察しております。是非、様々な方々のお力を借りて、これまでより一層推進して戴ければと思っております。</p>	<p>御意見ありがとうございます。 コロナ禍であっても、今まで以上に地域福祉の推進が行えるよう、様々な方の力をお借りし、社会変化に対応して参りたいと考えております。</p>	<p>社会福祉課</p>
<p>進捗評価Aが多くおむね計画通りに実施できていたようです。 内容として素晴らしいのですが、実際の生活の中で見えていないのが少し残念です。「あたりまえ」のようにある素晴らしさと大切さが必要な部分と、住民への「周知」という場面が必要な部分はアプローチの仕方に工夫が必要かもしれません。 一定の方への周知は広い周知にはならず、「我が事」としての意識が定着しにくいと感じました。</p>	<p>御意見ありがとうございます。 委員の仰る通り、住民への「周知」については、常に課題があると認識しています。住民への周知を行ったつもりが、一定の方への周知にしかになっていないことがしばしばあります。 コロナ禍となり、行政から住民の方へ様々な情報、内容を周知する場面が多くなっておりますので、周知の方法については工夫していきたいと考えています。</p>	<p>社会福祉課</p>

第5期福生市地域福祉計画進捗状況について	市の回答	回答課
<p>【要望】 基本目標1(2)2小地域福祉活動推進への支援のところで、評価がAとなっています。コロナ禍で小地域活動は自粛でほぼ止まっていると聞いていました。コロナ禍において1回以上でも開催してAと評価するのと、コロナ以前に通常通り開催していてAと評価するのでは質が異なると思います。実際、地域の活動が止まったことによって包括への相談件数も増えているようです。要支援者や介護度が上がった方の人数は増加しているように思えます。おむつの利用数も増加しています。したがって、同じ評価Aということにはならないため、注記として、通常開催と比較してどうだったかということも加えていただきたいと思えます。</p>	<p>市は、市民が小地域活動へ参加できるように支援することを目標としており、社会福祉協議会に財政的支援として補助金を交付しています。この事業は福生市社会福祉協議会が計画や実施しております。 社会福祉協議会の報告では、福祉地区によって活動に差がありましたが、活動している地区には職員の訪問も行い支援を行っています。また、コロナ禍での取り組みとして、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のガイドラインを定め、全地区にサロン活動について説明を行ったり、福祉地区の代表である世話人と協力し、小地域福祉活動のパンフレットを作成しているとのこと。</p>	<p>介護福祉課</p>
<p>【意見】 基本目標2(1)3健康教育の充実の評価のコメントについて、実施回数、中止回数が具体的に示されていてわかりやすいです。全体のうちどれだけ実施されているのかがわかりとても良いと思います。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
<p>【質問】 基本目標2(2)1見守りネットワークづくりにおいて、「広報誌に掲載し見守り活動の周知を図りました」とあります。事業の進め方には、「地域住民、ボランティア、町会・自治会、老人クラブ、民生委員・児童委員等の協力を得て」とあります。単純に質問ですが、これらの団体に周知をして、その先は各団体に動いてくださいね、というスタンスでお声掛けだけする立場が市の目指す「ネットワークづくり」の事業内容のゴールなののでしょうか。</p>	<p>「地域住民、ボランティア、町会・自治会、老人クラブ、民生委員・児童委員等の協力を得て」、の「協力」とは、各団体に動いて下さいという意味ではなく、活動の中で高齢者の普段と違う様子や心配な情報などの気づきを地域包括支援センターへ情報提供していただくことで、公的支援につながるケースも多数ございます。 もちろん、各団体の方々にも動いていただくこともございますが、決して一方通行ではなく、市と地域でお互いに力を出し合い、高齢者を見守っていく地域づくりを目指しています。</p>	<p>介護福祉課</p>
<p>【意見】 基本目標2(4)8要援護者(避難行動要援護者)への支援について、計画に「制度の周知、登録の推奨を行い」とあります。高齢者と障害者が対象となっていることから、対象者のほとんどは介護サービスとつながっています。連携協力先として、介護サービスの事業者、とくに居宅支援事業所にも周知先として含めることを提案したいです。障害サービスにおいても市が把握しているはずなので、部署間で連携すればさらなる周知は可能だと思います。2年前の多摩川の河川増水による水害の後、包括が市内高齢者施設を招集して開いた会議の場で、民生委員の方も参加されていました。各施設、地域において、実際の状況と、どのように対応したかについて市がヒアリングする機会がありました。私はそのときにこの制度について初めて知りました。介護サービス利用者で独居の方は自分で登録するのが困難です。介護保険の更新時はケアマネジャーが代行している現状を踏まえると、身の安全を守る行動をとる権利についても同じように手厚く周知して、必要な人に必要な情報がとどくようにすべきだと思います。そのうえで、第6期計画上で、登録者に対して非常時にアクションをとってくださる団体と情報共有を図り、非常時に誰に対して誰が動くのかという、実際に機能する仕組みにつなげていただきたいです。</p>	<p>避難行動要支援者への支援に係る事前登録については、既に一部のケアマネジャーや介護事業者を通じた申請をいただいております。御提案のとおり日頃から対象者と関わりのある方々との間において、非常時の体制を構築しておくことは有効であると思われまますので、各所管部署と検討を進めてまいりたいと考えています。</p> <p>御提案ありがとうございます。防災危機管理課より協力依頼があった場合、すみやかに市内居宅介護支援事業所への周知連絡等行うよう、引き続き庁内各署と連携して対応して参ります。</p>	<p>防災危機管理課 介護福祉課</p>

第5期福生市地域福祉計画進捗状況について	市の回答	回答課
<p>【質問】 基本目標3(3)8社会福祉法人との協働活動の推進と支援の実績のコメント欄に「様々な事業を社会福祉協議会に委託し、実施しました」とあります。介護保険事業は継続されていますが、コロナ禍における他の事業運営は中止になることが多くありました。しかし年度末になるにつれて、必要な事業は対面で行う、できることはやっていくという前向きな姿勢が「見える化」してきたように感じます。たとえば、介護予防リーダーのステップアップ研修は、福祉センター2階で感染予防に留意して対面で行われていました。そこで質問なのですが、「コロナ禍における対面で行う会合についての決まり」のような一貫した取決めのようなものが市と社協の間にあるのでしょうか。 社協のFVACの運営委員会は令和2年度は、一度も対面で開催することがなく、一方で、市からの委託事業だから、理事会だから、評議員会だから、という理由なら福祉センター内での対面での会合が開催されてきました。しかし、社協の相談支援課に属する活動はすべて、宣言下だから、蔓延防止だから、認知症カフェも中止、介護予防教室も中止という状況でした。直近では介護予防教室は市民から開講について問い合わせがあったため開講される流れになりました。相談援助や、支援者などの担い手の育成はとめてはいけない活動だと思いますので、これに関してはよかったですと思います。 ここで問題視したいのは、同じ施設利用に関して、一貫した明確な線引きが示されず、齟齬が生じていることです。福祉センターの部屋を感染予防に留意して利用する主体が市の委託事業ならよくて、意思決定に必要な理事会等ならよくて、民生委員の協議会などならよくて、それ以外の他の活動は利用できないという公平さを欠いている点に明確な説明がないことです。FVACの運営委員会は令和2年度開始時から現在にいたっても、対面の会合は禁止されているとの理由からZOOM開催となっています。説明を求めても、市の言うとおりにしているからとにかく開催できないとのことでした。学校は通常通り授業をしていますし、宣言下でも市役所や社協の職員の出勤はもはや2分の1に制限されていません。隣接する他市の社協関係者に問い合わせたところ、市に準ずるという回答でした。なので、社協と連携して事業を行う市の立場から、この質問に対する回答をお示しいただきたくお願い申し上げます。</p>	<p>市では、感染対策を実施した上で、収容率などを都の基準に合わせて施設の利用を決定しております。福祉センターは指定管理委託にて運営しておりますが、社会福祉協議会の独自事業につきましては、何らかの事情で福祉センターで開催できないとのことであれば、別の施設を探すなどの方法が考えられます。なお、介護予防リーダーのステップアップ講座は福祉センターではなく、もくせい会館で実施しました。</p>	<p>介護福祉課</p>
<p>達成率が高く、C、D評価が0件であったことは、よかったですと思います。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>

第3期福生市バリアフリー推進計画進捗状況について	市の回答	回答課
<p>実績評価に「E」を加えた事は良かったと思いますが、福祉計画の「E」とバリアフリー計画の「E」評価の意味合いに少し違いがあるので、統一した方が良いでしょうと思います。</p>	<p>御意見ありがとうございます。 今回、地域福祉計画の「E」評価とバリアフリー推進計画の「E」評価の意味合いを異なるものとした理由については、次のとおりです。</p> <p>バリアフリー推進計画に記載の事業について、予算が付いたものに関しては、基本的に実施するものである。コロナの影響で事業自体は中止になったとしても、事前の準備など（運営委員会や関係機関との調整等）当該事業に対する何らかの実績はあると考えられるため、地域福祉計画の「E」評価をバリアフリー推進計画で用いるのは実態にそぐわないと考えたためです。</p> <p>また、バリアフリー推進計画に記載の事業について、予算が付かなかったものについては、年度中の事業の実施は不可能（年度中の対象となる事業がない）であるため、予算は付いたが何らかの理由により実績がなかった（未実施だった）「D」評価と区別するために、バリアフリー推進計画では「E」評価を対象事業なしとしました。</p>	<p>社会福祉課</p>
<p>東福生駅と熊川駅の整備は、なかなか進まないようですが、駅周辺（トイレ等）の整備が急がれますね。</p>	<p>東福生駅のバリアフリー化へ向けて、令和2年度にJRと協定を結び調査を行いました。令和3年度も引き続きJRと協議を行っていきます。</p>	<p>まちづくり計画課</p>
<p>3ページ「No.1 福生駅を中心とする区域の整備」について、とにかくスピード感をもって実施してほしい。とにかく急いでください。</p>	<p>福生都市計画道路3・4・7号線（富士見通り）につきましては現在用地買収を進めています。用地買収が完了後速やかに電線共同溝設置のうえ道路の築造を進めていきたいと思っております。</p>	<p>道路下水道課</p>
	<p>福生駅西口地区市街地再開発準備組合が進めている再開発事業に対し、引き続き支援を行ってまいります。</p>	<p>まちづくり計画課</p>
<p>実際に車いすに乗り、街歩きをしてみると、まだまだたくさん不便な場所があります。 車いす利用者の視点に立って、更に各項目の実施率を上げたい。</p>	<p>御意見ありがとうございます。 関係各課と連携しながら、計画の推進及び計画の進捗・実施率の向上に努めて参ります。</p>	<p>社会福祉課</p>
<p>さくら会館に設置されました一中7組、不登校の子供に手厚い支援が広がり、大変、有りがたいことですが、卒業まで学べるように、家庭の協力が必要と思っております。</p>	<p>福生第一中学校7組については、令和2年度に設置してから一年半が経過しました。今後も家庭との連携を大切にしながら、生徒が社会的に自立できる力を育めるよう、卒業に向けて一人一人の実態に応じた指導をしてまいります。</p>	<p>教育指導課</p>
<p>説明を聞き理解するのと自分で文章を読み解く難しさがあつた様に思える。これもコロナ問題で仕方がない部分もあるが、行政のあらゆる事でコロナを理由に会議や行事を中止する事は逃げて（問題）いる部分がある様に思える。対策も考えない方針では問題がある様に思える。</p>	<p>「第5期福生市地域福祉計画進捗状況について」にて回答</p>	<p>-</p>

第3期福生市バリアフリー推進計画進捗状況について	市の回答	回答課
<p>コロナ禍の影響により、市税等減収が予想されるため、施設公園課の「健康遊具設置工事」が次年度に繰り越された事が気になっています。同じくコロナ禍では、高齢者のフレイル対策や高齢者の身体の衰えなど、徐々に影響が出てきていると思われます。現在、公園にて単発で福生生き生き体操が行われていると思いますが、健康維持活動には、体操だけではなく、公園等で身近で、人との距離をとり、いつでも気軽に活動ができる事も重要だと思います。その一つとして、是非、次年度には「健康遊具設置工事」を実施して戴きたく願います。</p> <p>また、歳入の減少により、今後とも計画に影響が出てくるのであれば、計画の進捗状況に加えて、計画の重要度や優先度が解りやすい様に、優先度、関連付け、ストーリー（目的、効果、認知度などを明確化）を作成しての各々の計画の位置付けなどを検討した方が良くと思います。</p>	<p>健康遊具につきましては、今後の市の財政事情を鑑みながら従前のおり設置していきたいと考えております。</p>	施設公園課
<p>ハード面の整備も前進していると毎日の生活の中でも感じています。ありがとうございます。</p> <p>道路のグレーチングも気がつくと変更（車イスのタイヤがはまらないタイプ）に変換もされるようになっていきます。</p>	-	-
<p>【意見】</p> <p>1 道路—1 歩道の整備について。将来的な横断歩道の設置について意見です。ここで述べるのが適切かどうか不明ですが、福生7小の交差点に水色の歩道橋があり、その交差点には河川から坂へ向かう方向のところには横断歩道がありません。私の叔母が40年ほど前にその交差点で原付に乗っていてダンプカーの左折巻き込み事故にあい他界しました。もしかしたらそれが原因である立派な歩道橋ができたのかもしれませんが、以前から気になっていたのですが、多くの人が道路を直接横切っている姿を見かけます。高齢者にとって、スロープでの移動は段差がなく便利かもしれませんが、直線距離で横断するよりも長距離になるため、車道を横断するほうを選択される方が多いようです。最近では横断したいところで横断する高齢者も多く見かけます。なので、たしかにバリアフリーにはなっていますが、安心安全の点では疑問が残る現状のため、福生7小の交差点に信号付きの横断歩道がもう1か所あったほうがより安全ではないかと感じています。</p>	<p>交通管理者の福生警察署によりますと、福生第七小学校前の歩道橋は田園通りを横断するための安全施設として設置されており、今も児童等の通学路として利用されており、横断歩道橋を渡ることによって交通事故が防止できているとのことです。仮に田園通りを東西に渡る横断歩道を設置してしまうと歩道橋の意味がなくなってしまう、交差点内での巻き込み事故等が増えることなどから交通事故防止の観点から横断歩道の設置は行っていないとのことです。</p>	道路下水道課
<p>達成率が高く、よかったですと思います。</p>	-	-

福生市障害者計画・第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画進捗状況について	市の回答	回答課
<p>第1節3-2 重度身体障害児入浴サービスの実施 第2節3-2 自動車運転教習費助成～</p> <p>サービス等を整備しても利用がないのは、ニーズがないのか、周知がでないのか、ですね。 在宅の皆さんは、サービスがあることを知らないことも多いので情報発信に力を入れてみてはいかがでしょうか。もちろんコロナ禍の影響もあるとは思いますが、よろしく願いいたします。</p>	<p>障害福祉サービスはいずれのサービスも同様に周知をしております。サービスによってニーズに差はありますが、いずれのサービスも必要なときに利用できる環境をできる限り維持していきたいと思えます。</p>	<p>障害福祉課</p>
<p>福生市の障害者計画はとても充実していると思えます。コロナにより自粛したり、事業中止によりB評価は理解できます。 「訪問系サービスの充実」が計画に対し利用が少なかったのもコロナの影響でしょうか。</p>	<p>訪問系サービスの利用減少は、主に居宅介護サービスの利用が減少していることによるものです。近年は身体障害者手帳所持者数が減少しており、それに伴い居宅介護サービスの利用が減少しているのではないかと分析しております。</p>	<p>障害福祉課</p>
<p>デイジーを利用している、この市で生まれ、20代で病で手術後、光を失いました。両親も他界、妹・弟は県外に住み、彼女は一人でヘルパーさんの介助で元気に生活しています。将来は妹の住む埼玉へ移る予定ですが、独居で言葉には表せない、不安・淋しさがあることと思えます。 しかし、サークルの人々、ヘルパーさん、市の手厚い対応で県外には心が動かないことだと伝えられました。私のできる事は、手伝いを致しますが、安心して生活できること有りがたく思えます。</p>	<p>誰もが安心・健やかに暮らせるように、限られた財源の中で、引き続きできる限りの支援を行って参りたいと思えます。 サークルやヘルパーの方々をはじめ支援者の皆様に心から敬意と感謝をいたしますとともに、引き続きの御支援と御協力をお願いいたします。</p>	<p>障害福祉課</p>
<p>説明を聞き理解するのと自分で文章を読み解く難しさがあった様に思える。これもコロナ問題で仕方がない部分もあるが、行政のあらゆる事でコロナを理由に会議や行事を中止する事は逃げて（問題）いる部分がある様に思える。対策も考えない方針では問題がある様に思える。</p>	<p>「第5期福生市地域福祉計画進捗状況について」にて回答</p>	<p>-</p>
<p>P8.1.4 児童発達支援 市内にも事業所等あるのでしょうか。</p>	<p>ぶどうの木とつなごーよの2か所あります。</p>	<p>障害福祉課</p>
<p>P9.1.7 学童クラブ 8の放課後デイもありますが、ごく軽度の障害のみの受入れなのですか。希望すれば選択できるのでしょうか。</p>	<p>学童クラブは一人で通うことができる児童を対象としています。 目安として身体障害者手帳5級～7級、愛の手帳3度・4度の児童となっております。</p>	<p>障害福祉課</p>
<p>P17.2.1 グループホーム 家賃補助ありがたい制度だと思います。 質問項目場所ではありませんが・・・重身・重複障害・医療ケア等のある障害者向けの整備や、医療体制等へのサポートはあるのでしょうか。</p>	<p>現状ではそれらの対象者からのグループホームの利用に関する相談等はありませんが、相談等があった場合は他市町村にあるグループホームで対応していこうと考えております。また、近隣市にある療養介護、医療機関併設の児童発達支援センターや医療型児童発達支援など、いずれも既存の障害福祉サービス等において支援を行っていきます。</p>	<p>障害福祉課</p>
<p>実施率が100%であり、継続的に事業が取り組まれていると思えます。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>

福生市介護保険事業計画〈第7期〉進捗状況について	市の回答	回答課
<p>介護予防福祉用具貸与の実績増えたのは、在宅で家で過ごす時間が増えた結果でしょうか。家に引きこもって、体力が落ちたり、足腰が弱ってしまったという話をよく聞きます。 今の現状で、高齢者の方々の暮らしを支えることの難しさを考えていかなければいけませんね。</p>	<p>要介護要支援認定者が毎年増加を続けている状況に加え、仰るとおり新型コロナウイルス感染症の影響による在宅時間の増が福祉用具貸与の増加の一因になっていることも伺えます。引き続き、必要な方に適切な介護サービスが提供できるよう、ケアマネージャー、事業者と連携し、対応して参ります。</p>	<p>介護福祉課</p>
<p>高齢者人口、高齢化率は計画値を上回り、要介護認定者数、介護サービス利用者数も増加とのこと。今後もこの傾向は続くと思えます。引き続き支援計画をお願いします。</p>	<p>高齢者人口、高齢化率、要介護要支援認定者数等、毎年増加の一途をたどっています。団塊の世代の方が75歳となる2025年、及びそれ以降に向けて第8期、第9期計画と見直しを続けて参ります。</p>	<p>介護福祉課</p>
<p>居宅介護給付サービス等の利用者数の多さに今後、増加方向が予定されましたが、自身なりに健康管理ができていづつ、現実を知ることによって不安になり、改めて運動、室内でのストレッチなどルーティーンになつて動きを増やすように心がけています。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
<p>説明を聞き理解するのと自分で文章を読み解く難しさがあつた様に思える。これもコロナ問題で仕方がない部分もあるが、行政のあらゆる事でコロナを理由に会議や行事を中止する事は逃げて（問題）いる部分がある様に思える。対策も考えない方針では問題がある様に思える。</p>	<p>「第5期福生市地域福祉計画進捗状況について」にて回答</p>	<p>-</p>
<p>内容について特に意見はありませんが全体的な意見として、年々介護保険の事業費がコロナ禍で加速的に増えてくる可能性が気になっています。コロナ禍により、地域支援事業費、通所などの利用者が減つたとの事ですが、全体的には、高齢者市民のフレイル対策にかなり影響が出ていて、今後、5年、10年の中期で判断すると、要介護状態になる高齢者が急速に増えてくると思えます。現状では、介護保険料の負担能力に応じた多段階設定を行っているとの事ですが、負担は、徐々に厳しくなり、人口減が加速し、さらにコロナ禍が加わり、茹でカエル状態になり、気がついたら危機的な状態になる可能性があると思えます。また、コロナ禍の医療と同じ様に、今後、福祉の受け入れ側、介護が必要な高齢者のバランスが徐々に崩れ「介護逼迫や破綻」の状況になるかもしれません。人と人が触れ合う対策は、厳しいと思うので、コロナ禍でも、個人がいつでも、比較的安全に、密集せず、幾つかのプランから選べて、楽しく軽度の運動ができる設備やプランを考える必要があると思えますし、各家庭でのフレイル予防モデルプランをより推進する必要もあると思えます。何か知恵を絞り、一つ一つ対策を進めて行ければと思います。 また、医療機関は勿論、福祉サービス団体関係者の連携・連動・協力支援を今から構築する事も、危機に対応できる一つの手段かもしれません。現在、自宅療養者の支援で、訪問看護を活用するという提案が一部にあります。これについても、人員が空いている訳ではないので、各サービス機関にて、情報の共有や相互支援がある事が大前提だと思います。</p>	<p>要介護要支援認定者の増に伴い、介護給付費は毎年増加を続けています。現在福生市では所得段階別に第1号被保険者介護保険料を14段階に分けた設定を行い、皆様にご負担いただいておりますが、介護給付費の各年度の剰余金を管理するために設置された介護給付費準備基金からの適正な繰入れを随時行うことで、今後も保険料の急激な上昇を抑制して参ります。 また、フレイル予防については、コロナ禍においては今まで以上に重要となると市でも認識しています。1回当たりの人数を減らしたり、広い会場で換気を行いながら実施するなどの感染予防策を講じて介護予防教室を開催したり、申し込みなしで参加できる屋外での体操を介護予防リーダーの提案で実施するなど、工夫をしてコロナ禍でもできる対策を進めています。</p>	<p>介護福祉課</p>
<p>介護保険制度の利用もあがり、在宅療養も安心して行えるようになってきていると思えます。要支援者の福祉用具利用UPは、癌末の方で軽度判定も多いのかなと仕事をしていて思うこともあります。癌末の方に関しては要介2位一律で出してくれると区変もしなくてよいのというCMからの意見も散見します。</p>	<p>癌末期の要支援・要介護1の方の福祉用具につきましては、医師の診断等で可否を判断するといった厚生労働省の示す取扱いでご対応いただきたいと思いますと考えております。介護度を一律で出すことは、適正な審査会の運営の観点から、難しいと考えております。</p>	<p>介護福祉課</p>

第6期福生市地域福祉計画に係る 令和3年度計画について	市の回答	回答課
<p>丸ごと相談（断らない相談）の推進では、とても期待する事業であります が、市民の皆さんへのPR（周知）がポイントでしょうか。知らなければ、利用 されないのでは、具体的に“こんなこともそうだしいいんだ”と理解してい ただけるようお願いいたします。</p>	<p>御意見ありがとうございます。 まずは、丸ごと相談（断らない相談）の事業を実施するために、庁内での調整、検 討を進めて参ります。また、具体的に事業が実施できるようになりましたら、多くの 方に利用していただけるようPRの方法について工夫をしたいと考えています。</p>	<p>社会福祉課</p>
<p>福生市の地域、特性に合致した計画になっていると思います。何かとカタチ でボランティア活動を始めたいと思っている市民はおりますので、更にPRを進 めて欲しい。</p>	<p>介護サポーター事業につきましては、高齢者に伝わりやすいPR方法を検討してい きます。</p> <p>輝き市民サポートセンターでは、ボランティアを含めた市民活動に関する情報を、 ホームページや情報誌で発信していますが、活動を始めるきっかけ作りとなるような 事業を今後も企画していきたいと考えております。令和2年度は、地域のために役立 ちたいと考える方を支援する「地域デビュー応援隊」が市民公募により結成され、活 動を段階的に進めています。</p>	<p>介護福祉課</p> <p>協働推進課</p>
<p>民生委員の空地区が増加しているように見受けられますが、選出は、大変困 難なことは承知しておりますが、その反面、現役が退任していることは、大変 もったいない気がしています。家庭の事情、それぞれ理由はあるかと思ってい ますが、残念です。</p>	<p>御指摘のとおり、民生委員・児童委員の定員に対して欠員があり、担い手の確保が 課題となっております。令和2年度には欠員地区の後任候補者検討会を開催し、担い 手を確保するための情報提供体制等の検討を行っております。</p>	<p>社会福祉課</p>
<p>例年と同じではなく、進捗が見られる様な計画を望みます。</p>	<p>御意見ありがとうございます。 これまで計画に基づき、地域福祉を推進して参りましたが、その進捗状況が見え づらい状況であったことは大変申し訳ありませんでした。 令和3年度からの新しい計画について、進捗状況をお示しする際には、今まで以上 に具体的な実施内容等を記載し、計画の進捗状況が見えるように取り組みます。</p>	<p>社会福祉課</p>
<p>内容について特に意見はありませんし、ぜひ4点の重点項目を推進して戴き たくお願いします。ただ、最近の社会情勢（特にコロナ禍）を鑑みると、平時 ではなく、有事なのではと思ってしまう。是非、有事という事を想定し て、5番目の追加項目「コロナ禍対応」を検討して戴ければと思います。長野 県松本市の様に、医療の連携で成功している事例もありますので、圏域の医療 の連携協力体制に加え、福祉の連携・協力体制の構築をお願いします。</p>	<p>御指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、専門家からも「災 害級の非常事態」とも称されておりまして、「コロナ禍対応」については、国や東京 都との連携・協力体制のもと、地域福祉計画とは別の動きとして、迅速に取り組ん でまいります。</p>	<p>社会福祉課</p>
<p>権利擁護や成年後見に力を入れているなどと思います。 令和7年の高齢化率予測でも28%とあり、後期高齢率も上がっていくことか ら、更に認知症様の方も増えていくので支援場面が増えそうです。より地域力 を高めないといけないと痛感しています。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
<p>社協としても、関係機関の1つとして協力や連携体制を整えて参りたいと思 います。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>

第4期福生市バリアフリー推進計画に係る 令和3年度計画について	市の回答	回答課
<p>わらつけ街道のバス停で、道路に（体育座りで）座り込んでいる高齢者の方がいらっしやいました。最初は具合が悪いのかと思ったのですが、道路のバス停の絵の上に座って、“バスを持っている”と言われ、動くことはありませんでした。狭い道路をどう改善できるのでしょうか。</p>	<p>物理的に道路拡幅をするような改善はできませんが、歩行者、車いす、ベビーカー利用者などが安心して通行できるように路面標示や路側帯のカラー表示などの対策を行っていきたく考えています。</p>	<p>道路下水道課</p>
<p>市内公園で車イスでは利用できない（しずらい）ので、早急に改善をお願いします。</p>	<p>福生市都市公園における移動円滑化の基準に関する条例」により、園路や広場等のバリアフリー整備に必要な事項を定めていますが、場所によっては自然の地形を生かした公園もございますので、整備ができない箇所もございます。</p>	<p>施設公園課</p>
<p>施設所管課が課題意識を持ち、維持管理、整備していただけること有難いです。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
<p>公共施設のバリアフリー、だれでもトイレ、エレベーター、自動ドア、子育て支援の多くが進められ市民に思いやりが伝わると良いと思いました。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
<p>一般家庭でトイレが自動で水の流れる便器設置が進んでいるようですが、一部の子どもですが、学校にて使用後に流さないことがあります。家庭でのマナー教育が必要となりますね。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
<p>市民生活に不可欠な道路、多くの施設のバリアフリー、整備された美しい誰にでもやさしい街に進化していますが、数十年後には、西口が開発され、構想図では素敵ですが、それまで生存できたらと願うばかりです。大きな魅力ある街づくり、多くの施策、現在まで自然災害のないこの街に人口も増加することを期待しています。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
<p>例年と同じではなく、進捗が見られる様な計画を望みます。</p>	<p>「第6期福生市地域福祉計画に係る令和3年度計画について」にて回答</p>	<p>-</p>
<p>個別の施策を実施する所轄と管理する所轄の連携ですが、大変良いと思いました。また議題2でも述べましたが、これに加え、各施策のストーリーが重要だと考えます。（なぜ必要なのか、誰に便益がどの程度あるのか、施策の効果、他の施策との関係性など）、また、社会の変化に柔軟かつ迅速に対応（ストーリー自体が変わる事がある）する仕組みなども検討して戴ければと思います。</p>	<p>市では地域の身近な公共施設を、小学校施設の更新を機に複合化・集約化していく「ストーリー」のイメージを「個別施設計画」に定め、このストーリーの具体化を検討しております。公共施設のバリアフリー化は、各施設の必要な改修等を機会に行う他、このような複合化・集約化と併せて推進していくことを考えております。</p>	<p>行政管理課</p>
	<p>社会の変化を鑑みながら、行政管理課と連携し、バリアフリーの推進に努めます。</p>	<p>社会福祉課</p>
<p>特に意見はありません。充実しつつありますし、よく細かい所まで目が行き届いているなど思っています。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>

福生市障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画に係る令和3年度計画について	市の回答	回答課
<p>コロナ禍においても、問い合わせや利用希望の方は減ることがないようです。また、今だからこそ、多岐にわたる支援や情報が求められています。</p>	<p>コロナ禍の初期においてはサービスの利用を控える動きがありましたが、それ以降はおおむね通常どおりサービスを利用されているような状況です。 市の基幹相談支援センター（障害福祉課）、相談支援事業等を委託している障害者自立生活支援センターすてっぷ及びハッピーウイング、市内7か所の計画相談支援事業所、障害者就業・生活支援センターけるんなど、市内には相談機関が多数あります。引き続き障害者への支援や情報提供に努めて参ります。 なお、障害者への情報提供については、これら相談機関からの情報提供の他、広報、市ホームページ、福祉サービスガイドブック、子育てハンドブック等により行っております。その他に有効な情報提供の手段がありましたら御助言いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>	<p>障害福祉課</p>
<p>4つの基本目標のもと、一人でも多くの方が自立できることを望みます。</p>	<p>一人でも多くの方が自立できるよう支援に努めて参ります。一方で、大変難しい課題であるとも認識しておりますので、多くの方の御支援と御協力をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>	<p>障害福祉課</p>
<p>例年と同じではなく、進捗が見られる様な計画を望みます。</p>	<p>障害福祉の施策は継続して実施していくことも大変重要なことであると思っております。また、基本的な目標や施策の方向性はそもそも大きく変わるような性質のものではないと思っており、限られた財源の中で、施策の中身をどれだけ充実させることができるかを考えております。本計画は地域福祉推進委員会の答申に基づき作成しておりますので、計画作成の際には具体的な御提案をいただければより充実した計画になると思っております。よろしくお願いいたします。 なお、市では近年、主に次の施策等を新たに実施して参りました。 1 テレビ電話手話通訳サービス等の導入 2 デイジーの導入 3 福祉避難所の拡充 4 障害者のための災害時避難行動マニュアルの作成（全障害者への配布） 5 災害時の避難誘導 障害者を支援する時のポイントの作成（全世帯への配布等） 6 小・中学校でのボッチャ・ブラインドサッカー体験教室の実施 7 国が新たに創設した自立生活援助、就労定着支援、居宅訪問型児童発達支援、新高額障害福祉サービスへの対応 8 サービス利用計画に係るモニタリング期間の短縮 9 計画相談支援事業所3事業所の新規指定 10 小学校全校に特別支援教室を設置 11 自閉症・情緒障害特別支援学級を設置（6小・1中） 12 特別支援教育プログラム検討委員会を設置 13 障害者職場体験実習の実施 14 障害者差別解消支援地域協議会の設置 15 ふっさヘルプバンドナの作成配布 16 基幹相談支援センターの設置</p>	<p>障害福祉課</p>

福生市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（第8期）に係る令和3年度計画について	市の回答	回答課
<p>コロナの状況の中、介護サポーターの皆さんは活動を行っているのでしょうか。</p>	<p>コロナ禍のため、介護施設でのボランティアは中止となっています。配食サービスのお弁当を届けるボランティアは活動をしています。</p>	<p>介護福祉課</p>
<p>認知症サポーターの方から講座は受けたのだが、どのような事をすればよいのか、どのような活動があるのか等の声が聞かれることがあります。市としてのアプローチは。</p>	<p>認知症サポーターの総数が増えていく中で、認知症サポーターが活躍できる仕組みをつくっていくことは課題でもあります。現在、認知症サポーターが、さらに知識と理解を深めるために「ステップアップ講座」を開催したり、登録サポーターとして市に登録した方に、講演会や講座に関する情報を発するなど、認知症サポーターが学びを活かし、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを一緒に行っていくように取り組んでおります。今後は、認知症サポーターが積極的にオレンジカフェに参加したり、家族会ともつながっていただき、サポーターによる見守りやつなぐ活動が盛んになっていくことを目指します。</p>	<p>介護福祉課</p>
<p>この事業を頼りにされている方が多く居られます。今後も個人個人のニーズに合ったサービスをお願いします。</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p>	<p>介護福祉課</p>
<p>市民の生きる力をつけてくださる、多くの支援、事業が施策されていますので、自身の数年先迫るフレイル化の恐怖を抱えていましたが、心が軽くなったような気がします。市民も同様の気持ちになっていると思います。</p>	<p>御意見ありがとうございます。引き続き地域包括ケアシステムの推進に向け、社会参加や生きがい、介護予防・フレイル予防等の事業を実施して参ります。</p>	<p>介護福祉課</p>
<p>例年と同じではなく、進捗が見られる様な計画を望みます。</p>	<p>地域福祉推進会議を基に検討してまいります。</p>	<p>介護福祉課</p>
<p>内容については特に意見はありません。また全般的な意見は、議題4と重複していますので、ご参照下さい。</p>	<p>-</p>	<p>-</p>

その他	市の回答	回答課
<p>コロナ禍の中では会議など行えず、リアルな議論ができない中での書面開催ご苦労様です。</p> <p>頂いた資料は一応は読み込みました。各項目での進捗状況や評価について特に意見はありません。ただ、様々な関係団体の会議などが開催できずにいることが、関係する福祉関係の現場の状況を正しく捉えて迅速に対応することが困難な状況にあることも事実かと思われまますので、多くの関係者の経験や知識が問題解決に反映される方法や方式の検討も今後必要かと思われまます。</p>	-	-
<p>コロナの状況により、できない活動が多々あると思います。市と関係機関がしっかりとタッグを組んで乗り切っていく事が重要だと考えまます。</p>	<p>御意見ありがとうございます。 関係機関と今まで以上の協力関係を築き、コロナ禍であっても、地域福祉が推進できるよう努めて参ります。</p>	社会福祉課
<p>すべての計画についてはではないですが、全体を通して単年度評価だけでなく、計画年度全体を通しての評価、その理由や計画前後の変化（成果や残された課題等）の記載が見えやすくなっていると次年度計画へのつながり、PDCAがわかりやすく、住民への理解促進にもなるのではないかと思われまます。</p>	<p>御意見ありがとうございます。 評価の方法や進捗状況の管理方法について、見えやすく、次年度計画につながるよう検討して参ります。</p>	社会福祉課
<p>コロナ禍で、本委員会もそうですが、色々と影響を受け、皆さんご苦労されていると思いまますし、今回の書面開催についても配慮して戴きありがとうございます。私の住んでいる武蔵野台地区では、武蔵野台の体育館で、ワクチン接種が継続して行われている関係で、気軽に体育館で運動することができていませぬ。仕方ないとして諦めるのではなく、何か、楽しんで運動・フレイル予防ができる他の方法や手段はないのか、市民に対して、何か協力を啓発する施策はないのか、市民のモチベーションを高める方法（成功例の提示など）はないのか、インセンティブを寄与する施策（ポイント制など）はできないかなど、検討する必要があると思いまます。</p> <p>コロナ禍での死者数は、1万5千人を超えて、感染者数は100万人を超えています。死者数については、東日本大震災と同数であり、行方不明者を含めた1万8千人を超える可能性もあります。東日本大震災当時を思い起こせば、CMは無くなり、喪に服し、仮設住宅の建設や復興に関わる総動員など、普段と違う事が多くあったと記憶していまます。しかし、今回のコロナ禍ではどうでしょうか？実感が無いのが原因かもしれませんが、死者数は同程度ですし、感染者数と被災者数を比較すると、コロナの方が10倍多いと思いまます。仮設住宅はできるのに、仮設病院や野戦病院的な施設ができないのが不思議です。しかし、前述した様に、ソフト分野でも、連携・協力などすぐにもできる事はまだまだあると思いまます。政府に頼る事なく、地域で自立してできる分野を少しでも増やし、勿論、市民も協力して、コロナ禍でもしっかりと生活できる環境を作れる様にしたいと思いまます。</p>	-	-